

令和4年 6月

チーム代表者 様

広島県小学生バレーボール連盟  
会長 後藤 尚史  
福山小学生バレーボール連盟  
会長 川村 誠

第34回広島県小学生総合体育大会バレーボールの部における  
新型コロナウイルス感染予防対策について(お願い)

コロナ禍における大会開催にあたり、選手が安心してプレーできる環境を保障し、選手ならびに大会関係者の健康と安全を守るために、下記の通り感染予防対策を行います。チーム関係者に周知するとともに、ご協力をお願いします。体調不良の場合や、大会前2週間以内に感染が疑われる者との接触があった場合など、感染の疑いが考えられる場合は、大会への参加をご遠慮ください。また、感染予防対策への協力が得られない場合は、参加をお断りすることがあります。なお、今後の感染状況によっては、大会の延期や中止の判断をする場合がありますことを申し添えます。

記

1 基本方針

広島県小学生バレーボール連盟が作成している「大会等開催に向けたガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」に基づき対応します。

- ◆ 三密の状況をつくらない。
- ◆ 指示されたウォーミングアップ及び試合中の選手以外はマスクを着用する。
- ◆ 大会中のソーシャルディスタンス(1m以上)を確保する。
- ◆ 大会関係者が、感染者になっても誹謗中傷は許さない。

2 大会まで

(1) 申し込み

- ①主催者が示す新型コロナウイルス感染予防対策に同意する。
- ②大会参加者名簿を提出する。
- ③大会2週間前から、日々の健康チェックを行い、「健康チェックシート」に記録する。

(2) 抽選

- ①抽選は、主催地区にて行う。

3 大会当日

(1) 受付

- ①受付場所・時間を指定するので(別紙会場図)、それを見て行動する。
- ②チームの代表1名は、来館者全員の「健康チェックシート」を持って受付を行う。それ以外の者は、受付が終わるまで館外で待機する。
- ③代表は、チーム関係者(選手以外のベンチスタッフ及び保護者)の人数分のリストバンドを受け取る。

(2) 入場

- ①受け付け終了後、全員がそろって入館し、非接触体温計で検温する。(37.5℃以上は入館不可。)
- ②選手以外の入場者は、部外者と識別するために配付されたリストバンドを着用する。

(3) 監督会議と開会式

- ①監督会議は、監督 1 名のみの参加とする。
- ②開会式は館内放送のみで行い、観覧席で参加する。(予定)

(4) ウォーミングアップと試合

- ①指示があるまで観覧席で待機する。
- ②ウォーミングアップは、決められた時間に決められた場所で行う。
- ③試合に出る選手のみ、試合中マスクを外すことができる。
- ④大きな声を出してのかけ声や指示は控える。選手はネット越しに、相手コートに向かって発声しない。
- ⑤コートチェンジは行わない。
- ⑥試合中、選手同士のハイタッチなどの身体接触を控える。
- ⑦試合前後の握手はせず、挨拶はエンドラインでの礼のみとする。
- ⑧タオル・給水ボトル・アイシングバックなどは共用しない。
- ⑨チームは、除菌シートや消毒液などを持ち込み、試合終了後はベンチの消毒を行って退出する。

(5) 審判

- ①線審用のラインフラッグは、チームで持参したものを使用する。
- ②記録用の筆記用具もチームで持参する。
- ③主審・副審は、笛の上にマスクを着用して行う。
- ④ボールは、セット毎に役員が消毒する。
- ⑤試合終了後、審判チームは、テーブルや得点板等を消毒して退出する。

(6) 引率と応援

- ①入館できるのは、1 チームにつき選手 12 名以内・ベンチスタッフ 3 名以内、引率者・保護者等（帯同審判を含む）10 名以内とする。
- ②観覧席の所定の場所から応援する。
- ③声を出しての応援を控える。

(7) トイレ

- ①順番を待つときは間隔を保って待つ。
- ②石けんを使って 30 秒の丁寧な手洗いを心がける。

(8) 食事

- ①よく手を洗った後、観覧席の指定の場所で食べる。
- ②食事中は、会話をしない。

(9) 表彰

- ①試合終了後、コートで表彰を行う。閉会式は行わない。

(10) 退出

- ①試合や審判が終わったチームは、速やかに退館する。
- ②使用した観覧席は、チームが持参した除菌シートや消毒液で拭き取り消毒する。
- ③チームが出したゴミはすべて持ち帰る。

4 大会後

大会終了後 2 週間以内に、大会に参加した者の感染がわかった場合は、速やかに大会の感染対策責任者に連絡すること。

感染対策責任者(大会副実行委員長) 藤原慎太郎 携帯電話番号 090-7547-1624